



【 家族会総会報告 】

4月25日、竜ヶ崎保健所、1市2町の障害福祉課、龍ヶ崎市社会福祉協議会、茨城県精神保健福祉会連合会、民生委員・児童委員など多くのご来賓の参加のもと開催することが出来、議案が原案通り承認されました。

総会の後、社会福祉協議会地域福祉課吉田様から、4月に開所した成年後見支援センターについて紹介いただき、当事者支援に向き合われて精神障害者が成年後見に繋がった事例や今後の成年後見制度の改善の動向に触れ、質疑にも応えていただきました。

今年度は以下の役員体制で、当事者・家族の安心・幸せのために活動し、家族だから共感できる、分かってもらいにくい悩みや体験も安心して話すことができ学び合える場を大事にしていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

会長:竹之内啓吾

副会長・会計:土屋恒子

庶務:長瀬紀一郎、大久保タイ子、原孝博、臺令子、藤井由美

また、会計監査には水上克宏様がそれぞれ再任されました。(竹之内 啓吾)

【 県連家族会会長会議・研修会に参加して 】

6月8日の会合は、来賓2名と各家族会22名で行われました。県連の財政が収入減により厳しくなることを知り協力できることはしたいと思いました。喫緊の課題としては、マル福拡大の件があり家族としては実現できることを切に願うばかりです。

また各家族会活動の状況を伺い、高齢化や役員不足などいずれも同じ課題を抱えているのだと認識いたしました。龍ヶ崎地方家族会は毎月定例会、茶話会、コミュニケーション障害研究会を開催しており比較的参加者が多いと感じております。又新年会、親睦会なども行ってきました。

これからの家族会活動については、改めて3つの柱、

★「支え合い」★「助け合い」★「学び合い」を掲げ、雲外蒼天をめざし活動していきたいと思ひます。

茨城県精神保健福祉会連合会においては益々発展することを祈念いたします。(土屋 恒子)

【 ボランティアに参加して 】

先日職場の同僚とMUFJスタジアム(国立競技場)で開催されたラグビーの決勝大会のボランティアに参加してきました。ラグビーのことは全く分からずの二人でした(笑)。スタジアムに初めて行ったのでテンションは上がりっぱなし。実は同僚の実家がスタジアムの目の前にあり彼女に駅から安心してくっついて集合場所まで観光を兼ねてキョロキョロ 😊

これまでの主な活動(2026年4-6月)

月 日	項 目	場 所
4月1日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
4月11日	婦人茶話会	総合福祉センター
4月18日	役員会	市民活動センター
4月25日	家族会 総会	市民活動センター
5月7日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
5月7日	龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会総	RINK
5月9日	定例会	市民活動センター
5月11日	県南かれん	総合福祉センター
5月16日	婦人茶話会	総合福祉センター
5月30日	役員会	市民活動センター
6月3日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
6月6日	定例会	市民活動センター
6月8日	県連理事会・総会・会長会議	水戸精神保健福祉センター
6月13日	ゆっくら評議員会	ゆうあいワークイン
6月16日	地域連携推進会議	キノッピの家GH
6月20日	婦人茶話会	総合福祉センター
6月27日	役員会	市民活動センター



神戸のチームのブースが私たちのブースの隣にあり、その熱気に圧倒です。私達はスタジアムのパネルの前で記念写真が出来るブースの案内をしました。試合時間が近づくと大勢の人達が並びだしてびっくり!!神戸のチームのファンの方々当日来たという人が多く本当にラグビーファンの凄さを感じました。又私達のブースが一時中断することなので何があるのと思っていたら何と元日本代表の五郎丸さんと田中さんが私達のブースでサインボールのプレゼントをする企画になりびっくり!!

目の前で二人のことは見られてボランティアのご褒美だねと同僚と見学。試合は観戦せずに帰りましたが初めて見るラグビーの見方が変わり来年も機会があればまた参加しようと同僚と話しながらの帰り道。その際は観戦もと思っています。何でも食わず嫌いでいずに、動くことで考え方見方が変わるのだとつくづく実感した一日でした。 追伸 優勝は神戸のチームでした。おめでとうございます。(Y・F)

【 アルバムの断捨離に挑戦 】

親の遺品で困る物に必ずアルバムがあるという。親にとっては愛着が深く、捨て切れなかったに違いない。しかし、残された者にはあまり興味が湧かない。結局は業者に任せて捨てられてしまうのが常のようだ。我が家にも積み積もったアルバムが50冊程あるが、サイズが大きく本立てには並べにくい。厚くて重いので手軽に見る事も出来ない。自然、置き場所もバラバラだ。出来れば一カ所にまとめようと何度も考えたが、子供のあどけない表情や可愛さに負けて中断を繰り返して来た。このままでは親と同じだ。

そこで、今回は発想の転換を図り、覚悟を決めて断捨離に取り組むことにした。そして次の目標を立てて挑戦することにした。1)アルバムは全部を無くす。2)写真は厳選して両面印刷用紙に印刷する。3)時系列に並べてA4ファイル2冊に纏める。

この目標が達成出来れば、本立てに並べ、好きな時に手に取って見る事が出来るはずだ。達成のカギはカラー印刷にあるので、手始めに、満開の桜と田園風景を選んで実験してみた。その結果、自分のプリンターでも写真と遜色ない印刷が可能なのが分かり自信を深めた。印刷した写真には年月日やコメントを書き添えたが、自由に書き込めるのがこの印刷方式の大きな利点だ。

結婚後の二人の写真には、妻の出産や子供の入学祝い、両親・知人の来宅、家族や会社の慰安旅行など様々な行事が多く、厳選するのに難渋したが、最も苦労したのは約1000枚の山野草の写真だ。定年後に自然観察グループのメンバーと筑波山周辺を探し歩いて撮影したものだが、初めて出会った花には、それぞれ一期一会の物語があり、100枚に絞るには身を切る辛さがあった。

その一方で、写真の組み合わせや時系列のやり直しで、編集には予想以上の時間が掛った。それでも挫折することなく、約4か月掛ったが遂に目標を達成出来た。写真が無くても大きな出来事、特に辛い思い出はメモに書き加えたので、改めて2冊のファイルを眺めると、圧縮された人生の歴史を見るようだ。たまたま、印刷済みの子供たちの写真は、しゃれたポケットアルバムに収めて妻に渡したが、生まれたばかりの赤子、ビリビリに破った襖の前で澄ましている子供の顔、茨城に移住した新居の庭で無邪気に遊ぶ子供たちの姿を見て、妻は可愛いね、これも可愛い、を連発。まるで宝物でも得たような喜びようであった。

かくして、我が家の持て余した50冊のアルバムは、2冊のA4ファイルに姿を変え、本立てにすっきり収まった。付録の積りで作ったポケットアルバムは妻の宝物に大化けした。そして何より、2冊のファイルは妻と二人だけの、いつでも過去に帰れる人生の歴史辞典になった。先ずは自分にアッパレを、そしてアルバムの断捨離成功に乾杯!(K・M)

【編集後記】

獲れたての素晴らしい姿のジャガイモを頂き、1.5kgでポタージュを作り、家族で何度もお替りし食卓が和みました。気象庁の3ヶ月予報によると、7月から8月は暖かい空気に覆われやすく、全国的に気温が平年より高くなる見込みで、熱中症に警戒が必要です。生活習慣を整え、栄養を摂り、適度な運動で体力維持と、そしてあの子はどうしてるかなあ、と思いやり、うまく声を掛けたいものです。(K・T)

これからの予定(7月-)

月 日	項 目	場 所
7月1日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
7月4日	定例会	市民活動センター
7月13日	ボランティア連絡協議会広報委員会	地域活動センター
7月13日	県南かれん	総合福祉センター
7月18日	婦人茶話会	総合福祉センター
7月25日	役員会	市民活動センター
7月27日	龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会	市役所

